

認定第1号

平成25年度一般会計歳入歳出決算の認定について

反対討論

高原 邦子

年度末の三月議会に多額の減額補正をしたが、議決された予算を執行するのが本来、行政の仕事である。それをせずに決算が黒字になったと言っただけに喜べるものではない。期末まで予算確保を必要とするものもあるが、全てがそうではない。PDCAを用いて行政評価、事務評価を常に行っている旨を一般質問で答弁しているが、この点も疑問が残るものである。一例を挙げるならば、スキー選手への激励金がある。シーズン当初に渡すものが、5月の出納閉鎖間際に駆け込みで処理している。この件は誰も気づかなかつたことが問題である。責任の所在はどこに、事業検証の有無は。組織としてガバナンスがなっていない。

限りある予算を有効に執行せず、期末まで無為無策で凍結した決算には反対するものである。

籠山 恵美子

福祉施策では、介護制度が変わり在宅介護サービスへの移行・充実を言うが、そのための市の確固とした底上げ策がない。また介護支援手当もいまだ1万円のままで、介護家族の負担に行政が応えていない。残念ながら飛騨市の福祉施策は「社会保障」ではなく「施し」のレベルである。では市は、市民要望に応えられないほど財政が逼迫しているのか。そうではない。市は相当財政に余裕のあることが財政指標からも読みとれる。今年度は13億円の黒字。財政調整基金は1年で10億円も増やし58億円と巨額になった。特別会計もすべて黒字である。財調基金は適正規模の約5倍も貯め込んでいる。この貯め込み主義をあらためない限り市民に安心安全なくらしは保障できない。このような決算には反対する。

意見交換会のお知らせ

市民の皆さまとの意見交換会を、下記の日程で計画しています。師走でお忙しい折とは存じますが、多数お出かけください。

平成26年12月18日(木) 午後7時

- ◆ 古川町公民館 (3階和室)
- ◆ 河合町公民館 (2階和室)

平成26年12月19日(金) 午後7時

- ◆ 神岡町公民館(3階会議室)
- ◆ 宮川振興事務所(2階和室)

訂正とお詫び



42号8頁 6月定例会の提出議案等における各議員の賛否一覧中、原案可決15:1は田中清安、山下博文両議員が欠席のため、13:1に訂正しお詫びいたします。

編集後記

全国各地で野生鳥獣被害が深刻な問題となっています。飛騨市は熊・猪・カモシカ等が出没し山林や農作物に被害をもたらしています。また先般は神岡町内に熊が現れ人的被害をもたらしました。同報無線での注意放送も頻繁にあり、子供達の登下校も気になるところです。何をおいても人命第一です。

10月17日現在の駆除数は熊86頭、猪197頭と大変多くなっています。狩猟解禁は11月15日からとなっております。年間捕獲数は相当数多くなりそうです。

一方、鳥獣害対策でお世話になります猟友会の方達の高齢化も心配の一つです。先頃、静岡県御殿場市で第2回「全国狩猟サミット」が開催されました参加者の平均年齢が34・1歳と若く興味深く農業新聞を読んだところです。飛騨市においても若い人達に興味を持っていただき参加してほしいですね。

(谷口 充希子)